

建設部長 昭和61年8・5災害には志賀沢川の災害復旧工事を、平成6年9・22災害については国の激特（激甚災害）の指定を受けて、押分分水路、排水機場が整備されました。市の事業として、境堀や相の原、桜雨水幹線等の整備を行い、志賀沢川の工事に合わせ河川の改修工事も行いました。



押分排水機場

ゲリラ豪雨の対策は

問 今回の大雨で新たな対策が必要と思われたものがあつたのか。特にゲリラ豪雨等に対し、今後どのように取り組もうとしているのか。

建設部長 平成18年9月の大雨で冠水被害のあつた、里の杜、蒲崎川向、相野釜新拓地区等が今回被害に遭わなかつたことには、ポンプを設置した経緯があります。暫定ポンプも含めて、そういう措置がゲリラ豪雨には

有効的と考え、局地的な部分について検討していきたいと思つています。

市営住宅の管理運営



維新 加藤 政勝

問 厳しい経済情勢の中、市営住宅の家賃滞納の状況、その対策と成果は。

建設部長 19年度末（15年度からの累計）で1、685万7、900円、65名。最長滞納は87カ月、最多滞納額は165万200円です。対策として、1カ月経過未納者には、督促状、次に催告書、訪問徴収、夜間訪問、休日訪問等そのほか面接の上、支払い計画書の提出、連帯保証人に連絡を取る等手段を講じて



亀塚第一住宅

いるので納めてくれる方が、少しずつふえている状況です。政策空き家いつまで

問 亀塚第一住宅の政策空き家は、劣悪な住宅環境のまま現在も続いているがいつ終了するのか。将来どのような目標があるか。

市長 今の状況としては、何年度までとは決定をしていません。現状のままです。早くと管理運営に努めながら、早い段階で目標、方向性を立てることができればならないと思つています。

次世代育成支援



岩沼 政策 渡辺 邦信

問 地域における子育て支援の推進について、ネットワークづくりの体制充実に向けて、どう取り組んできたか。

民生部長 県や市の子育て支援者養成講座を受講された方々が、ほっぺの会などを設立し、活動しています。子育て支援応援者登録をした方々には次世代育成支援室と協働で支援をいただき、また、子育て支援スキルアップ研修会や交流事業を通し

て、各サークルのネットワーク化や子育て支援の充実を図つています。

取り組みをどう評価

問 子育て支援ネットワークづくりの取り組みについて、どのように評価しているか。

市長 大きく分けて福祉部門と教育部門があります。実際に実現を図るのは難しいことです。次世代育成支援の行動計画をしっかりとものを立て、それを具現化するにあたり、知恵、力を出していただきながら進めてきました。一応いい方向には進められていると思つています。

特定健診のあり方



日本共産党 渡辺 ふさ子

問 特定健診の詳細な検診（貧血、心電図、眼底）は医師が必要と認めたら人以外の希望する人の受診料が自己負担となった（19年1、000円→20年4、090円）。減額すべきと思つてどうか。

民生部長 制度改正になり、特定健診の制度上、必要がないことから全額自己負担となりました。他の保険も全額自己負担と

なつていきますので、国保だけを減額するとバランスが崩れます。

予防として十分か

問 予防のための検診として十分か伺う。

市長 この検診のあり方で十分かどうかはお答えできません。ただ、法律に基づいて国民全体の健康増進につながる、より効果的な健康診断等のあり方として、生活習慣病予防のための健康診断、そして、真に保健指導の必要な方を抽出しようと今年始まつたばかりです。

ごみの出し方、ごみの行方



維新 大友 健

問 リサイクル資源とされている「プラスチック製容器包装類」は、清掃センターで全部が再び



廃プラの選別



用語解説

政策空き家＝老朽化した公営住宅の取り壊しなどのため、新規入居者の募集を停止している結果生じた空き家